

# 光

# 明

妙智寺 寺報3月 258号

## 春にする

春を告げる花といえば、桜・梅・桃・・・

咲く順番は、梅⇒桃⇒桜だそう。

禅語に「梅開早春」とあり

「梅、早春に開く」ではなく「梅、早春を開く」

つまり、「春が来たら梅が咲く」のではなく

「梅が咲くから、春が来る」ということ。

春を成り立たせているのは、花や小鳥達のはたらき。

人生を開いていくのは、自分自身。

自らが咲くことで、人生春となる。

さらに、周りを春に変えるような生き方ができたら・・・。



3月 24日 (日) 午後2時

春季彼岸大施餓鬼会

先祖に供養し、徳を積み、

「いのち」の花を咲かせましょう ▶案内同封

## 竜のはなし

むかし、あるところに一匹の竜がすんでいました。

力が強く、形も恐ろしく、激しい毒を持っているので、弱いものは目を見ただけで気を失い、強いものでも毒気にあたって死んでしまうほどでした。

あるときこの竜は善いところを起こし、

「これからは良い心を起こし悪いこともせず、全てのものを悩ませない」と誓い、静かなところを求めて、林の中でじっと道理を考えていましたが、疲れ果てて眠りました。

竜は寝る間は蛇の形になり、体は綺麗な瑠璃色や金色の紋が現れていました。そこへ猟師たちがきました。

蛇(竜)を見て「こんな珍しい皮を王様に差し上げて飾りにしてもらったらどんなに立派だろう」と大喜びで言いました。

猟師は蛇の頭を押さえ皮を剥ぎ始めました。竜は痛さに目を覚まし、考えました。

「もう悪いことはしないと誓ったから、この猟師を殺しては可愛そうだからこらえてやろう」

と痛いのをぐっと耐え、息をこらえて毒をあてないようにし、悔しい思いをも起こしませんでした。

竜は皮のない赤い肉だけで横たわりました。日が照ると土が暑くなり、痛さと苦しさとバタバタしながら水がある所まで行こうとしました。

その時、たくさんの小さな虫たちが竜の体を食おうと出てきました。

「この体を虫たちにやることは『まことの道』のためだ。いま肉を虫たちにくれておけば、やがては『まことの道』を虫たちに教えることができる」

と慈悲のところで動かず、黙って食わせました。

そしてとうとう乾いて死んでしまいました。

死んだ竜は天上に生まれ変わり、世界で一番偉い人、お釈迦さまになってみんなに一番の幸せを与えました。

その後虫たちも、お釈迦さまからの教えを受けて『まことの道』に入りました。

『竜のはなし』 宮沢賢治 作

この話は、宮沢賢治作の子供向けの絵本です。絵本の冒頭に

「このはなしはおとぎばなしではありません」 賢治

実話だと賢治は主張したいのです。実際にあった、というより

「こうありたい」ということかも・・・

『誰かのためにある自分』という菩薩の姿が理想だと・・・



## 積功累徳のご報告 (功を積み、徳を累ねる)

妙智寺総代 大橋モータース 大橋良史様

この度、客殿玄関に「手すり付き玄関台」のご寄進を賜りました。安全に下足の履脱ができるようになり、負担少なくご来寺が可能です。

本堂からの出入りが負担とを感じる方や肢体に不具合のある方等、遠慮なく玄関からの出入りしてください。多数の方々の「安心」を施してくださいました大橋総代様、誠に有難うございました。合掌



## 地鎮祭

新築を建てる時に「土地の神々に許可」を得るため、「土地の霊位を慰める」ための【地鎮祭】は神社でお願いする方が多いと思いますが、妙智寺では地鎮祭もさせていただきます。

土地を清め、施主の先祖も供養し、全ての神に感謝を捧げ無事完成を祈るご祈禱をします。

先日、地鎮祭を行いました。

業者と一枚岩になり、施主のために祈る事ができました。

「仏式は初めてですが、気持ちよかったです」と担当者。悦ばれた土地の神々の言葉を聞いたようでした。所願の建築、無事完成をお祈り致します。



## 第131回 妙智寺和讃会は

3月24日(日) 午前9時・・・和讃講習

午前10時・・・生け花講習

※お花の準備がありますので欠席の方は17日までにご連絡下さい。

## 2月の妙智寺の様子 月例の回向(訪問型・来山型)は省略

2/3 K家 個人祈禱

2/4 A(I)家 故 A・N 供養

2/10 S家 地鎮祭

2/11 N家 施餓鬼(祥月)

2/11 K家 施餓鬼(祥月)

2/11 I・H家 施餓鬼(7・祥月)

2/11 S・T家 施餓鬼(祥月)

2/11 T・S家 施餓鬼(7・祥月 3霊)

2/17 N・Y家 仏壇閉眼・開眼

2/22 池上本門寺 声明指導

2/4 I家 個人祈禱

2/4 N家 個人祈禱

2/10 I家 七回忌法事

2/11 H家 施餓鬼(1周忌 2霊)

2/11 N・H家 施餓鬼(70・祥月)

2/11 I・K家 施餓鬼(43)

2/11 N家 施餓鬼(先月 47)

2/13 S家 龍神さま開眼

2/22 第一期信行道場 辞令交付

2/25 H・S家 一周忌墓地開眼、納骨

## 3月 行事予定

□ 3月 1日(金) 午後2時

### 月例水子供養会

- ・回向札(白紙札)と牛乳・菓子を持参ください。
- ・生まれ得なかった《いのち》の供養です
- ・『永遠のいのち』を説く「自我偈(P21)」を5回読誦します

□3月 10日(日) 午後2時

### 月施餓鬼・鬼子母神祈祷会

- ・登録の霊位を**経木塔婆**に書写し、施餓鬼供養いたします。  
※4月より更新です。
  - ・祥月命日や年回忌・縁のある先祖に**特別施餓鬼供養**します。  
※なるべく早くご連絡下さいますと幸甚です
  - ・鬼子母神さまを開帳し、**ご祈祷**いたします。祈願を受け付けます。
  - ・持ち歩き用 **方除け守授与**。
  - ・各家守護神法楽。酒や塩等、持参下さい(守護神様に・家の水周り等に)
  - ・各種 **相談**もお受けします。
  - ・**妙法水**を持参ください。
- ※ 釈尊涅槃図を掲げお釈迦様の涅槃を偲びます。

□佛さまと行き交う **唱題行・法話会**・・17日(日) 午前7時

お題目を唱え、お題目を聴いて、お題目を感じ、お題目を知り

佛さまの心と私たちの心が「行き交う」時間です。

**今月の縁日** 3/1 甲子(大黒さまの縁日) 3/17~3/23 春季彼岸「修行期間」

### 春から初夏の妙智寺

○4月の月施餓鬼 4月7日(日) 午後2時

○永代施餓鬼供養と感謝祭 5月26日(日) 午前10時30分